

平成27年度秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料3】

「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」
「中山間ふるさと・水と土保全推進事業」

平成26年度及び27年度の実施状況について

平成26年度 実績について

■事業費の内訳

事業名		事業費 (千円)	備考
中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業		17,300	
1.	ふるさと秋田応援オーナー促進事業	7,610	
	(1) 秋田応援オーナーの受入モデル地区の 発掘・支援	2,121	
	(2) 秋田応援オーナー募集、PR、情報発信	3,294	
	(3) 受入モデル地区の農地等保全活動	2,195	
2.	中山間地域土地改良施設等保全対策事業	9,690	
	(1) 調査研究 ・棚田分布調査	5,076	
	(2) 研修事業 ・人材育成（ふるさと水と土指導員の育成、Akitaふるさと活力人養成セミナーの開催など）	1,889	指導員3名 (26年度まで28名任命) 活力人(5期)17名修了 (26年度まで99名修了)
	(3) 推進事業 ・啓発普及資料の作成、配付 ・地域資源の保全活用等の地域住民活動支援 ・秋田農山村ふるさと保全委員会の開催	2,725	
観光連携ビジネスモデル育成事業 (観光振興課)		1,485	中山間地域タイプ3地区 の実施
中山間地域農業活性化緊急基盤整備事業 (農地整備課)		1,800	活性化計画分
○事業費合計		20,585	

【中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業】

中山間地域の抱える課題を解決するため、農地等の多様な地域資源を活用し、地域住民と地域を応援する支援者との交流の活発化を通じて地域活性化を図るとともに、持続可能なビジネスモデルの創出等により、ふるさと秋田づくりを総合的に支援する。

1. ふるさと秋田応援オーナー促進事業

(1) 秋田応援オーナーの受入モデル地区の発掘・支援

(新規 5 地区×300千円、継続 4 地区×100千円)

地域の農産物等を提供する仕組みを構築し、地域を応援する支援者「ふるさとオーナー」を募集するとともに、農業・農村（食・伝統芸能等）体験プログラムの構築や情報発信を目的として、新規 5 地区及び、前年度からの継続 4 地区で実施。

【新規地区】

地区名	実践団体名	オーナー人数	オーナー特典	主な体験プログラム
三種町 森岳	田舎ぐらし大学 みたね	41	じゅんさいオーナー 3～5千円/口(鍋セット) 果樹オーナー(2～4千円)	◆ じゅんさい摘み取り(4回) ◆ 果実もぎとり体験(2回) ◆ そば打ち体験(2回)
由利本荘市 本荘	NPO法人あきた菜の花ネットワーク	22	菜の花オーナー 5千円/口(菜種油)	◆ 菜種播種体験 ◆ とうもろこし収穫体験
大仙市 四ツ屋	いきものみつけファーム in大仙おばこ推進協議会	8	花火米オーナー 10千円/口(花火米ほか)	◆ 稲収穫体験 ◆ 自然観察会
仙北市 西木	いぶりがっこ	22	いぶりがっこオーナー 3千円/口(漬物・野菜)	◆ 収穫&いぶし体験 ◆ 漬け込み体験
横手市 山内	(株)ウッディさんない	61	そばオーナー 8千円/口(玄そば)	◆ そば播種&木工体験 ◆ そば収穫&食事会
合 計		154		

【継続地区】

地区名	実践団体名	オーナー人数	オーナー特典	主な体験プログラム
大館市 中山	陽気な母さんの店友の会	19	果樹オーナー 20千円/口(りんご・なし)	◆ 果実収穫体験(随時) ◆ 収穫感謝祭
藤里町 横倉	(株)白神ぶなっこ教室	34	棚田オーナー 9千円/口(棚田米10kg)	◆ 田植えツアー ◆ 自然観察ツアー
大仙市 余目	余目いきいき会議協議会	5	里山の田んぼオーナー 10.5千円/口(コライス30kg) 9千円(特栽米30kg) 他	◆ 生き物観察会(2回) ◆ 収穫体験 ◆ 収穫祭
横手市 塚須沢	大森町GT協議会	14	棚田オーナー 10千円/口(棚田米20kg)	◆ 春感体験(田植) ◆ 夏感体験(かかしづくり他)
合 計		72		

《実践団体サイド》

- 《オーナーサイド》

- オーナー料負担を通じて、微力ながら地域活性化や農地保全に寄与したと自負。
- 子どもが交流活動に興味。子どもが大きくなってから、経済的負担や時間を割いてまで、交流活動（現場）に参加できるか微妙。
- 景観保全に費用負担し、対物を得るシンプル形でも可（いわゆる棚田オーナー）

インターネットや各種イベント等を通じて、秋田応援オーナー制度を県内外にPRするため、NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会に対して、広報業務を委託した。

[illegible]

(4地区×500千円)

- 3 -

等に必要な条件整備（農地や景観・文化の保全、試験栽培、加工品試作等）を図るため、4地区で実施した。

地区名	実践団体名	オーナー人数	オーナー特典	条件整備の内容
大館市 釈迦内	釈迦内SP実行委員会	-	-	◆ ひまわり試験栽培 ◆ ひまわり加工品試作
潟上市 飯田川	たそがれ野育園運営協議会	28	精米(20kg) 18千円~/口(資料代込)	◆ 簡易休憩所、看板整備 ◆ 農具整備
男庭市 安全寺	安全寺里山保全会	27	精米(10~30kg) 3.5~10千円/口	◆ オーナー園看板整備 ◆ 簡易足洗い場整備 等
美郷町	美郷町 都市農村交流推進協議会	21	精米10kgコース シャインマスカットコース 各5千円/口	◆ オーナー園PR資材製作 (ポスター、チラシ等)
合 計		76		

※ 農地等保全活動に係る支援については、26年度をもって終了し、27年度以降の実施要望に対しては、元気な中山間農業応援事業（6次産業化モデル事業）等の既存事業をもって支援。

2. 中山間地域土地改良施設等保全対策事業

(1) 調査研究

- 棚田地域等の分布調査・研究等（GIS「地理情報システム」を活用し、データベース化）
 - ・ 平成25年度に引き続き棚田地域の分布範囲の特定作業を行い、県内全域の調査を完了。県内の農地の内、勾配1/20以上の急傾斜地が8,958ha、棚田地域全体では16,294haという結果が得られた。
 - ・ このデータを中山間地域の農地等保全対策における基盤データとして活用し、市町村等と連携し、農山村の活性化及び保全対策等を推進していく。

(2) 研修事業

農山村地域の活性化を担う人材として「ふるさと水と土指導員」を新たに3名任命し、1月に開催された全国研修会へ派遣。

また、「Akitaふるさと活力人」の養成のためのセミナー行い、5期生（25～26年度）として、17名が修了した。

○ ふるさと水と土指導員について

中山間地域における農地、土地改良施設のほか、景観・伝統文化などの地域資源の保全を図るため、1市町村1名以上の育成を目標に、地域住民活動を実

践及び指導する人材を育成している。26年度は、鹿角市1名、潟上市1名、秋田市1名の計3名を新規に任命。ワークショップによる住民参加の手法や体験活動実施に必要な基礎知識等の習得を図るため、1月に東京都で開催された全国研修会へ派遣した。(26年度末現在、13市町村 計28名)

○ Akitaふるさと活力人養成セミナーについて

地域の人材や資源を活用し、地域内相互、又は都市と農村をつなぎ合わせて地域活動をコーディネートする人材を育成するため、国際教養大学地域環境研究センターと連携し、1期2か年全16回のセミナーを実施。

平成17～26年度の10年間で、99名が修了し、地域活動の実践者、水土里ネット、G T関係者など、県内各地で活躍している。

【Akita ふるさと活力人養成セミナー 26年度実施状況】

① 平成 26 年 4 月 11 日	(雄勝地域振興局)『グループ企画書コンペ』
② 平成 26 年 5 月 23 日	(国際教養大学)『講義「効果的な PR 戦略」』
③ 平成 26 年 7 月 31 日	(湯沢市)『ワークショップ・意見交換「現地企画実施計画」』
④ 平成 26 年 9 月 5 日	(湯沢市)『ワークショップ・意見交換「現地企画実施計画②」』
⑤ 平成 26 年 10 月 10 日	(総庁)『ワークショップ「現地企画実施計画づくり③」』
⑥ 平成 26 年 10 月 25・26 日	(湯沢市松岡)『現地企画』
⑦ 平成 26 年 12 月 12・13 日	(湯沢市)『現地企画の振り返り』『セルフプレゼンの説明』
⑧ 平成 27 年 2 月 27 日	(秋田市内)『セルフプレゼンテーション』『閉講式』



活力人養成セミナー（現地企画）の様子

【10年間の成果・課題】（修了生からのアンケート等を参考）

- 育成された人材による、県内各地での多様な活動が行われている。
- 各期のネットワークや、同じセミナーを受講したということで、活力人同士の繋がりが生まれた。
- さらなるネットワーク拡大のため、活力人同士の情報共有、情報発信の場が必要。
- 活動に対する支援や、活動場所の提供が求められている。

【育成された人材の今後の活用について】

- 27年度より“Akita活力人”ちいき応援事業を実施し、これまでに育成された人材（Akita活力人：ふるさと水と土指導員やAkitaふるさと活力人養成セミナー修了生等）が地域住民と協力して行う地域資源を活かした活動を支援。
- 取組団体からの提案型の企画を、県がプレゼンテーションにより選考。
- 事業に併せて、実施地区をフィールドに、磨き上げのワークショップや、報告会としてのフォーラムを開催し、地域活動を担う新たな人材や、活動を継続する地域の人材を育成し、取り組みの定着や他地域への波及を図る。

(3) 推進事業

農業・農村の持つ自然・景観、伝統文化・芸能などの多面的機能への理解を深め、保全対策の必要性和保全活動への参加を促進するため、都市住民への啓発普及活動を行う。

○スタンプラリーの実施及びパンフレットの作成

- ・ 農地や土地改良施設が有する多面的機能及びその維持・保全や利活用に係る地域住民活動の役割・重要性などの周知を目的に、これまで行われた秋田県中山間ふるさと水と土「現地見学会」のコースを基に、特色のある土地改良施設、農家民宿、農家レストラン、農村景観のビューポイントなどを盛り込んだパンフレットを作成。
- ・ 26年度種苗交換会を開催した男鹿市を中心に、男鹿南秋エリアを対象としたスタンプラリーを実施。
- ・ スタンプラリーについては平成26年10月30日から12月26日まで実施、7,000部を直売所、農家民宿、振興局、市町村役場等に設置配布し、101通の応募があった。

※応募者からのアンケートでは

- ・ 秋田の良いところを再発見できた。また行きたい。
 - ・ いいきっかけになった、農山村に興味を持った。
 - ・ この地域にあればほどの農業施設があるとは思っていなかった
 - ・ 都会で子育てをしていますが、なかなか自然と触れ合えるところがないので、秋田は魅力がいっぱいです
 - ・ また、出かけてみたい
 - ・ 景色がとても綺麗だった。感動した。
 - ・ 来年以降もぜひ続けてほしい。
- などの意見があった。



○情報誌「新・田舎人」の配布について

ふるさと保全ネットワーク（全国水土里ネット）が発行する「新・田舎人」（年4回発行）を各回500部購入し、大学、農業高校などの教育機関、病院などの医療機関、農家民宿、公共の宿などの宿泊施設、道の駅などの交通機関のほか、関係機関に配布し、農山村地域の魅力を情報発信。

○ふるさと水と土指導員の活動支援について

ふるさと水と土指導員が中山間地域における農地や土地改良施設が有する多面的機能を良好に発揮するために行う、農地等の保全・利活用に係る活動を支援。

（上限10万円×5活動）

※参加者からは

- ・体験に参加して、ますます秋田が好きになった。
 - ・農作業を通じて、お米の大切さをあらためて感じた。
 - ・摘み取りやその場でのジャムづくりなど、これまで経験できないものばかりでした。
- などの感想が寄せられた。

	氏 名	活動地域		実践団体	活動内容	参加人数
		管内	市町村			
1	阿部 進	雄勝	湯沢市 (稲川町)	稲川土地改良区	農作業体験、農業水利施設等見学会	1,230人
2	佐々木 義実	仙北	大仙市 (西仙北町)	西仙北グリーン・ツーリズム推進協議会	農作業体験、フォーラム等	160人
3	藤岡 義博	仙北	美郷町 (六郷町)	秋田県七滝土地改良区	水生生物の自然観察会(川・清水の生き物調査)	100人
4	高橋 広之	仙北	大仙市 (太田町)	アグリグループとんぼ	農作業体験及び農産物の提供体験等	110人
5	伊藤 清米	秋田	秋田市	仁井田堰土地改良区、秋田市孫左衛門堰土地改良区、秋田市旭川筋土地改良区	フォーラム等の開催(語り部交流会)	172人
	計					1,772人

※ 23年度からの継続事業であるが、事業制度を活用している「ふるさと水と土指導員」が固定化されてきているため、27年度を一区切りとして、周知の方法等を含めて28年度以降の実施方法等を検討する。

○フォーラムの開催

地域住民活動のさらなる活発化を図るため、10年目を迎えたAkitaふるさと活力人養成セミナー生及び、ふる水指導員、実践団体に向けたフォーラムを開催した（2月28日開催）。

○その他

秋田県農山村ふるさと保全委員会の開催

平成27年度 実施状況について

■事業予算の内訳

事業名		事業費 (千円)	備 考
中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業		21,403	
1.	ふるさと秋田応援オーナー促進事業	4,047	
	(1) 秋田応援オーナーの受入モデル地区 の発掘・支援	2,839	
	(2) バスツアー	1,208	
2.	中山間地域土地改良施設等保全対策事業	17,356	
	(1) 調査研究 ・棚田分布調査	9,132	
	(2) 研修事業 ・人材育成（ふるさと水と土指導員の 育成・研修等）	2,408	27年度は指導員4名を任命 (26年度まで28名任命)
	(3) 推進事業 ・啓発普及資料の作成、配付 ・地域資源の保全活用等の地域住民活 動支援 ・秋田県農山村ふるさと保全検討委員 会の開催	5,816	
中山間地域農業活性化緊急基盤整備事業		600	活性化計画分
○事業費合計		22,003	

中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業の平成27年度実施状況

1 ふるさと秋田応援オーナー促進事業

(1) 秋田応援オーナーの受入モデル地区の発掘・支援

○棚田オーナー等の地域資源を活用した受入モデル地区の発掘・支援。

・受入モデル地区

地区名	実践団体名	オーナー募集人数	オーナー特典	主な体験プログラム
潟上市 飯田川	たそがれ野育園運営協議会	30	精米(20kg) 18千円~/口(資料代込)	◆ 一連の水稲作業 ◆ しめ縄、味噌づくり
男鹿市 安全寺	安全寺里山保全会	40	精米(10~30kg) 3.5~10千円/口	◆ 田植え交流会 ◆ 稲刈り交流会
美郷町	美郷町都市農村交流推進協議会	120	精米10kgコース シャインマスカットコース	◆ 農作業体験 ◆ 郷土料理調理体験
合 計		190		

・モデル地区体験交流活動支援

地区名	実践団体名	オーナー募集人数	オーナー特典	主な体験プログラム
大館市 中山	陽気な母さんの店友の会	20	果樹オーナー 20千円/口(りんご・なし)	◆ 果実収穫体験(随時) ◆ 試食会
藤里町 横倉	(株)白神ぶなっこ教室	20	棚田オーナー 9千円/口(棚田米10kg)	◆ 田植えツアー ◆ 自然観察ツアー
三種町 森岳	田舎ぐらし大学 みたね	50	じゅんさいオーナー 3~5千円/口(鍋セット) 果樹オーナー 2~4千円	◆ じゅんさい摘み取り(3回) ◆ 果実もぎとり体験(2回)
由利本荘市 本荘	NPO法人あきた菜の花ネットワーク	20	菜の花オーナー 5千円/口(菜種油)	◆ 菜種播種体験 ◆ とうもろこし収穫体験
大仙市 余目	余目いきいき会議協議会	30	里山の田んぼオーナー 10.5千円/口(コメ30kg) 9千円(特裁米30kg) 他	◆ 生き物観察会(2回) ◆ 収穫体験 ◆ 収穫祭
大仙市 四ツ屋	いきものみつけファーム in大仙おばこ推進協議会	8	花火米オーナー 13千円/口(花火米他)	◆ 稲収穫体験 ◆ 自然観察会
横手市 塚須沢	大森町GT協議会	25	棚田オーナー 10千円/口(棚田米20kg)	◆ 春感体験(田植) ◆ 夏感体験(かかしづくり他)
横手市 山内	(株)ウッディさんない	80	そばオーナー 8千円/口(玄そば)	◆ そば播種&木工体験 ◆ そば収穫&食事会
合 計		253		

(2) 受入モデル地区の情報発信、現地見学会・交流会等の開催

○市民を対象とした農業・農村体験バスツアーの開催

・体験バスツアー 3か所

①由利本荘市矢島町 5月31日実施

(菜の花ウォーキング、とうもろこし定植体験)

②三種町 7月14日実施

(じゅんさい摘み取り体験、笹巻き作り体験等)

③横手市山内 11月3日実施
(山内そばオーナー)

2 中山間地域土地改良施設等保全対策事業

(1) 調査研究事業

○棚田保全調査

- ・2010 世界農林業センサスを基に農山村の集落を農業振興度等の指標により類型化
- ・類型化したデータを基に集落を抽出し、アンケート調査及び聞き取り調査を実施し、次年度以降の施策や取組を構築

○再生可能エネルギー活用実証展示

- ・再生可能エネルギーの農業への活用に向けた検討
- ・簡易な小水力発電装置を使用した実証展示（鹿角市1か所）

○農福連携マッチング調査（8か所）

- ・農福連携に係るニーズ調査（主な農業法人、福祉事業所等へのアンケート調査等）
- ・障害者による就労モデル実証（委託事業、県内8か所）

地域	期間	農業法人等名	事業所・学校名	就労品目	実証人数
鹿角	6/22～26	〈農〉したかわら	〈特非〉青垣 〈フリー・ステーション青垣〉	ホウレンソウ	2
北秋田	5/28～6/19 (5日間)	〈農〉向黒沢ファーム	比内養護学校たかのす分校	ネギ、エダマメ	2
山本	6/1～5	〈株〉真瀬ファーム	〈福〉能代ふくし会 〈事業所ひあわーく〉	水稲	5
秋田	6/1～5	〈農〉村越農産	〈福〉緑光福祉会 〈緑光苑〉	水稲	3
由利	7/9～15 (土日除く)	〈株〉ゆりファーム	〈特非〉はまなす会ゆうゆう (ゆうゆう作業所)	肉用牛	3
仙北	6/22～26	〈農〉TEAM. Freedom	〈福〉慈泉会 理事長 山下昭夫 (サンワークネット横手)	ソラマメ	1
平鹿	5/25～29	〈農〉十二牲担い手生産組合	〈福〉慈泉会 理事長 山下昭夫 (サンワーク大曲)	小菊	1
雄勝	8/17～8/21	〈農〉なるせ加工研究会	横手養護学校	農産加工	1

- ・障害者の農業就労に係る意識啓発（農業及び福祉関係者、市町村・団体職員、学校教員等を対象とした勉強会）

(2) 研修事業

○県内研修

- ・ワークショップ（地域活性化プログラムを通じた人材育成）

○全国研修

- ・「ふるさと水と土指導員」の全国研修会（平成 28 年 1 月予定）への派遣

※新しく「ふるさと水と土指導員」に任命された方を中心に
4～5 名程度の予定

（３）推進事業

○子供たちの農業・農村体験学習

- ・小学 5 年生による農家等での宿泊・生活体験（大館市、羽後町）
- ・多面的機能等に係る啓発資料（小 5 向け）の作成・出前授業

○地域活性化プログラムの実践・支援

- ・活性化を担う人材の連携による実践活動への支援

	実践団体	活動地域	目 的	活動内容
1	秋田内 SP 実行委員会	大館市秋田内	小学生のふるさとキャリア教育、地域ブランドとしてのひまわりを活用した交流人口の拡大	休耕田を活用したひまわりの植栽、ひまわりの種・茶・油などのオーナーへの提供、ひまわり畑のビューポイントの設置など
2	水土里の野菜倶楽部	秋田市仁井田	農村の地域資源の再発見とその活用による地域活性化	伝統野菜の復活・特産化、子どもの農作業体験など
3	一般社団法人 神代活性化協議会	仙北市田沢、生保内、神代	キャリア教育を通じた子どものふるさとを愛する心の育成と地域の担い手の育成	小学生によるキッズマート、修学旅行での仙北市 PR など

○「ふるさと水と土指導員」による地域住民活動への支援

	氏 名	活動地域		実践団体	活動内容	参加人数
		管内	市町村			
1	阿部 進	雄勝	湯沢市 (稲川町)	稲川土地改良区	農作業体験、農業水利施設等見学会	1,040 人
2	藤岡 義博	仙北	美郷町 (六郷町)	秋田県七滝土地改良区	水生生物の観察会	70 人
3	佐々木 義実	仙北	大仙市 (西仙北町)	西仙北町グリーン・ツーリズム推進協議会	農作業体験、GT フォーラム、首都圏への PR	80 人
	計					1,190 人

○フォーラムの開催

- ・地域活性化フォーラム（地域活性化事例の他地区への波及）
（平成 28 年 2 月開催の予定）

○その他推進事業

- ・「新・田舎人」の配布（340 部）
- ・秋田県農山村ふるさと保全検討委員会の開催 等